

修学旅行に関するQ&A集

	質問	応答
実施に関して	新型コロナウイルス感染症がさらに拡大した時、旅行を実施するかどうかの判断はどうするのか？学校としての考えは？	東京都教育委員会及び杉並区教育委員会の方針に沿って判断する。学校としては、生徒の安全を最優先にすることを前提とし、予定日に実施が難しい場合には延期して実施したいと考えている。延期ができない場合には中止となる。都や区のガイドラインが変更された場合、その都度お知らせする。
	夏休み中に中止等の決定がされた場合、生徒にはどのようにして知らせるのか？	夏休み中に再度の緊急事態宣言などの場合、東京都教育委員会及び杉並区教育委員会で何らかの決定がなされることが想定される。その場合には、決定した時点で学校緊急メール及び学校ホームページを通して保護者通知をする。生徒には、学校再開時に説明する。
	中止となる可能性があることについて、生徒にはどのように伝えているか？	7月20日（月）に修学旅行ガイダンスを実施した際、昨今の感染症拡大に伴い、修学旅行の延期・中止・中断などの可能性があることを説明している。修学旅行前と旅行中、健康に気をつけて生活し、健康な状態で帰ってくるのが大事であると話している。
班行動について	班行動中に体調が悪い生徒が出たらどうするのか？	各班にGPS機能付携帯電話を持たせる。チェックポイントでの体調確認だけでなく、何かあったらすぐに教員に連絡させる。各所に教員を配置し、体調不良の生徒がいる場合には一番近い教員が合流する。該当生徒には教員が付き添い、他生徒とは別行動をさせる。
	班行動中の食事場所での感染症対策はどうするか？	昼食エリア内で候補のお店を絞っておき、ホームページ等である程度店舗の環境を確認させておく。アレルギー対策が必要な場合にはお店に確認をする。予定のお店以外で食事する際には、店内の衛生環境を見て入るよう指導する。救急セット内の消毒シートも活用させる。
	京都・奈良の人々は修学旅行生を受け入れることに対してどのような反応か？	教員の实地踏査と旅行会社の視察では、観光業に携わる方々は修学旅行生を歓迎する雰囲気である。しかし、一般住民を過度に刺激することがないように、行動中のマナー等を十分に指導した上で修学旅行に行かせたい。また、受け入れ側のガイドライン等が発表されたら、その都度お知らせする。
宿舎での生活について	一部屋あたり的人数は何人くらいか？	部屋の広さが異なるため、一部屋あたり5～10名となる。一人あたり約2畳分のスペースを利用できる。
	部屋の中での過ごし方に関して、どのような指導をするのか？	宿舎の部屋は扉と窓を開け、マスクを着用することを徹底させる。他の部屋に入らないことはもちろん、自由時間などに密集して遊ぶことのないよう、フィジカルディスタンスをとること等と呼びかけていく。
	部屋の窓を開けておくと空調が効かない可能性があるが、手だてはあるか？	暑ければエアコンを使い、その際は、空調を効かせるために窓を開ける幅を狭める。扉を開けておくことで、空気の入れ換えは常に行われるようにする。
	入浴時などのマスクの取り外しについては、どのように指導するか？	マスクは、食べる時・入浴する時のみ外し、眠るときも外してよい。それ以外はマスクを着用させ、マスクを外したらしゃべらないということを徹底するよう指導する。
全体	高熱症状などで直前に参加を辞退する場合、キャンセル料は発生するのか？	旅行会社へのキャンセル料は発生するが、杉並区の補助金制度の対象（上限3万円）となる。
	旅先での新型コロナウイルス感染リスクがあるが、旅行から戻ってから全員PCR検査を受けさせることは可能か？	学校より行政機関に要望を出したが、このような形式の検査は実施できないという回答であった。民間機関の検査に関する情報収集をし、検査実施が可能な場合にはお知らせする。なお、旅行前の内科検診は必ず全員受診させる。
	マスクは多様なものがあるが、どのようなものが一番よいのか？	生徒が使い慣れているマスクを持たせてほしい。学校生活でもマスクのゴムが切れてしまう生徒が多いため、マスクは3日以上、多めに持たせるようにしてほしい。